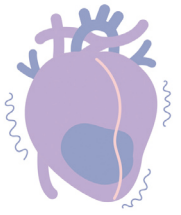


# 不整脈、特に心房細動について

## TOPICS



令和5年4月より、とうめい厚木クリニックの循環器外来で「不整脈専門外来」を新設いたします。「不整脈」と聞くとあまり馴染みの無い病気とお感じの方や、少し怖いイメージをお持ちの方もいらっしゃるかも知れません。しかしながら、不整脈にも多くの種類があり、誰もが持っている症状も殆ど認めないものから、失神や時に命に関わる可能性のある危険性の比較的高いものまで様々です。また、「不整脈」という名前ながら発作性上室頻拍のように脈のリズムは一定を保つようなものもあります。不整脈全体では高齢化の進む我が国では有病率が上昇しつつあり、2030年までに100万人以上が何らかの不整脈疾患を持っているであろうと推計されています。

特に近年注目されているのが「心房細動」と呼ばれる不整脈です。ご存知の方も多くいらっしゃるかも知れませんが、多くの著名人が脳梗塞を発症したことで有名な不整脈です。脳梗塞(頭)と不整脈(心臓)と聞くと一見無関係のようですが、心臓から大動脈に血液が拍出され、心臓を養う冠動脈が枝分かれすると、次に出てくる大きな分岐は脳へ通ずる動脈です。脳梗塞に様々な種類がありますが、脳梗塞全体の約1/3が心原性(心臓が原因)と言われており、その90%近くは心房細動が原因と言われています。心房細動を持っているだけで、同世代の病気をお持ちでない方と比べ約5倍の脳梗塞を発症する危険性が高まると言われています。

また、かつては「命に関わらない不整脈」であるかのように医学教育現場でも考えられていましたが、長年の研究により心房細動をお持ちの方は、そうでない方より平均寿命が短くなることも明らかとなりました。これは主に「心不全」と呼ばれる時に致死的な慢性疾患を発症するためです。心房細動が慢性化した場合、約5年間の経過観察期間内に約20%の方が心不全を発症すると言われており、また心不全のため救急搬送される患者さんの約40%に心房細動が合併していると言われております。

このように、脳梗塞や心不全など時に命に関わり、その後の生活を著しく損なう可能性のある心房細動ですが、長年試みられてきた薬物治療では心房細動を根治さ

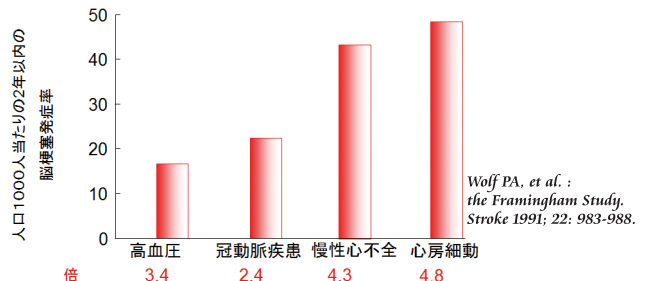
せることはできず、脳梗塞・心不全やそれらに伴う死亡も減少させることはできませんでした。しかしながら近年、カテーテルアブレーションと呼ばれる技術が進歩し、全例ではありませんが心房細動を抑制・根治させられるようになってきました。このカテーテルアブレーションは、低侵襲かつ短期入院で施行でき、治療後の再発率も薬物治療より良好であり、何より治療後の心不全発症や入院率、脳梗塞発症率、死亡率などを約半分まで低下させることができると報告されています。論文や研究だけでなく、実臨床でも多くの心不全に悩まされている患者さんたちが入院前と同等に近い形で社会生活を送れるようになっていきます。

心房細動は初期には発見が難しいことも多々あります。「脈が飛んでいる感じがする」「血圧計でエラーが出る」「健診の心電図で異常と言われた」などの症状に当たりのある場合には、是非一度受診を検討してください。

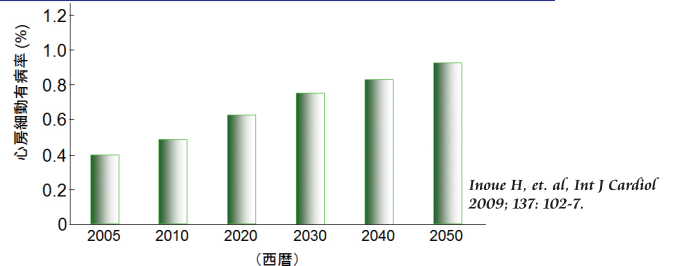
循環器科 佐藤 陽

佐藤医師の外来日は木曜午前中(予約制)です。なお、不整脈に関しては、循環器科の全医師が対応いたしますので、いつでもご相談ください。

### 心房細動があるだけで脳卒中リスクは5倍に



### 本邦における心房細動有病率の経年変化(予測)



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950

